

請 願 番 号	請願第4号
件 名	令和3年度の小学校英語指導協力員・EFの派遣及びSTEAM教員の配置の継続を求める請願
受 理 年 月 日	令和3年3月3日
紹 介 議 員	井深正美、堀田信夫、森下満寿美、田中成佳、服部勝弘、松原徳和、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>令和2年11月、令和3年度のSTEAM教員（小学校において、理数科授業の支援をする教員）の募集がないことが分かった。さらに、令和3年1月4日付で小学校英語教育推進事業における次年度の英語指導協力員の派遣終了が、当事者に対し何の説明もなく、突然通知された。</p> <p>岐阜市では、理科教育、英語教育の充実のために、様々な施策がなされてきた。理科に関しては、STEM教員がSTEAM教員に改善されたばかりであり、小学校英語指導協力員・EFに関しては、平成12年度から先進的な取組として市内全ての市立小学校において英語活動が開始されると同時に派遣された。また、平成27年度からは、小学校1年生から英語を教科として、授業を実施している。長年にわたって大切に行われてきた取組が、突然中止されることに大きな疑問と不安が強まっている。</p> <p>昨今、働き方改革が声高に叫ばれる中、現場からは、高学年の理科の実験準備に時間がかかり、さらに時間外勤務が増える、片づけにも手間や時間がかかる上にコロナ対策で消毒作業にも時間が取られる、EFの先生は8年間も子どもたちの授業に協力し子どもたちも英語を楽しみにしている、急に職がなくなることは生活に関わることなのにあまりに急な通知でひどい、現場で本人に伝えるのはとても辛いなどの悲鳴が上がっている。</p> <p>そうした中、授業の支援をする人員の削減は、まさに改革に逆行するものであり、また学習環境を悪化させることは、子どもと教職員の負担をさらに大きくするとわがざるを得ない。</p> <p>以上のことから、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 令和3年度も小学校英語指導協力員・EFの派遣及びSTEAM教員の配置を継続すること。</p>	
審 議 結 果	令和 3年 3月25日 (木) 不採択